

「災害・復興と男女共同参画」 6.11 シンポジウム

～災害・復興に男女共同参画の視点を～

東日本大震災に始まる被害に遭われたすべての方々のために。

亡くなられた方への心からの追悼と、被災されたすべての方、ご家族、ご友人の皆さまへ、心からのお見舞いをこめて。

プログラム

午前の部 10:05 ～ 12:00

開会挨拶 10:05 ～ 10:13

猪口邦子 (日本学術会議人間の安全保障とジェンダー委員会委員長)
堂本暁子 (「災害・復興と男女共同参画 6.11 シンポ」実行委員長)

I 基調講演 10:13 ～ 10:51

1. 「東日本大震災を理解する上でのポイントと男女共同参画の視点で見た課題」
大原美保 (東京大学情報学環総合防災情報研究センター准教授)
2. 「災害と男女共同参画をめぐる国際的潮流」
池田恵子 (静岡大学教育学部教授)

II 被災地からの報告 10:51 ～ 11:33

1. 「災害対策を巡る行政の課題」(仮)
奥山恵美子 (仙台市長・ビデオインタビュー)
2. 「未曾有の震災から復興に向けて」
小林清美 (郡山市婦人団体協議会・会長)
3. 「東日本大震災と看護」
山本あい子 (兵庫県立大学地域ケア開発研究所・所長/教授)

III 質疑応答 (午前の部) 11:33 ～ 12:00

午前の部司会: 大沢真理 (東京大学教授)

午後の部 13:30 ～ 16:45

IV 総合司会からの連絡 13:30 ～ 13:33

V リレートーク 13:35 ～ 14:35

1. 現場から: 私は訴えたい
 2. 東日本大震災と女性の活動
- 司会: 青木玲子 (全国女性会館協議会・常任理事)

VI パネルディスカッション 14:35 ～ 15:27

テーマ: 「復興と男女共同参画」

「災害復興における制度設計と生活再建をめぐるジェンダー課題」
山地久美子 (関西学院大学災害復興制度研究所研究員)

「戦後日本型の経済開発が災害に脆い社会を作った」
大沢真理 (東京大学社会科学研究所教授)

「復興に向けた科学・技術のあり方—環境及びジェンダーの視点を中心として—」
後藤俊夫 (中部大学副学長)

「女性の支援活動から復興に向けた提言」
田端八重子 (もりおか女性センター・センター長)

司会: 原ひろ子 (城西国際大学客員教授)

VII 質疑応答 (午後の部) 15:27 ～ 16:05

VIII 提言に向けてのまとめ 16:05 ～ 16:40

IX 閉会の辞 16:40 ～ 16:45

辻村みよ子 (東北大学大学院法学研究科教授)

総合司会: 皆川満寿美 (大学非常勤講師)

とき:

2011年6月11日(土)
10:00 ～ 16:45

ところ:

日本学術会議講堂

(東京都港区六本木 7-22-34 TEL:03-3403-6295)

定員: 300名 (申込順)

入場無料

主催: 「災害・復興と男女共同参画
6.11 シンポ」実行委員会

日本学術会議 人間の安全保障
とジェンダー委員会

共催: 東北大学 GCOE プログラム
「グローバル時代の男女共同参画
と多文化共生」

平成 22 ～ 24 年度科学研究費
補助金基盤研究 (B) (海外学術調査)
「ジェンダーと災害復興—
制度設計と生活再建をめぐる
課題に関する国際比較研究」

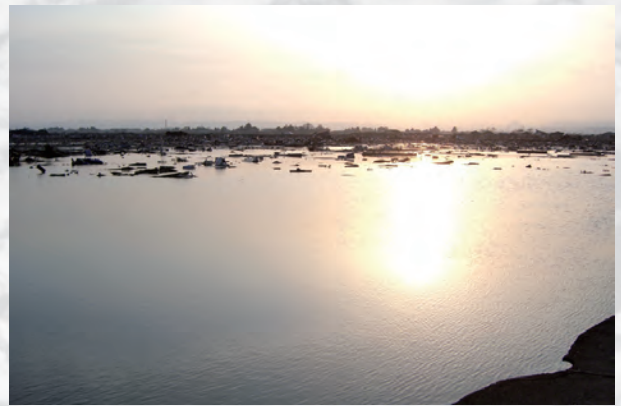
このシンポジウムの趣旨

東日本大震災から2か月余が過ぎても、高齢者（なかでも女性）や子どもを抱えた母親、病人、障がい者、外国籍の在留者など、困難な状況におかれやすい人々が、避難所などでの生活で、依然として不自由を強いられている。2008年に実施された全国知事会の「女性・地域住民からみた防災施策のあり方に関する調査」の結果からも、懸念されていた事態である。

昨年12月に閣議決定された第三次男女共同参画基本計画では、第14分野「地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進」として、第二次計画よりも取り組みが拡充された。

しかし、この計画が実行に移される矢先に、未曾有の東日本大震災が起こった。

本シンポでは、現地の報告を含めて女性団体と専門家が知見を交換し、現状を分析して、復興への政策的インプリケーションを得る。



このシンポジウムは、「災害・復興と男女共同参画 6.11 シンポ」実行委員会と日本学術会議が共同で主催する公開講演会です。この問題に関心がある方であればどなたでもご参加いただけます。

「災害・復興と男女共同参画 6.11 シンポ」実行委員会とは、わが国の災害・復興政策が男女共同参画の視点から立案・実施されることを願い、行動する団体と個人からなる委員会です。

2011年5月14日現在、69の団体と56名の個人が、実行委員会に参加しています。

<お申込み方法>

お申込みは日本学術会議ウェブサイト申込フォーム
<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>

または、FAXにてお申し込み下さい。
定員に達し次第締切りとさせていただきます。

<お問い合わせ先>

日本学術会議事務局企画課公開講演会担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL: 03-3403-6295 / FAX: 03-3403-1260



アクセス：東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5番出口（青山斎場方面）出て左折後すぐ。

<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>